

熱媒・温水循環装置は、定期点検、メンテナンス等を実施していても長期間の使用で下記のような経年劣化により思わぬ故障・事故が発生する場合があります。

- ・ヒータにスケール・スラッジが堆積し、ヒータが異常過熱を起こす
- ・ヒータの絶縁抵抗が低下し、漏電を起こす
- ・シール材、パッキンの硬化などの劣化により、熱媒・温水漏れを起こす
- ・電線の被覆が劣化により損傷して、スパーク、漏電火災などを起こす
- ・端子台など樹脂部が劣化して絶縁を保持できなくなり、スパーク、漏電火災などを起こす

## 故障・事故の例

		
異常過熱で破損したヒータ (5年間使用)	スケールが付着したヒータ (3年間使用)	スケールが付着したヒータ (5年間使用)
		
熱媒が固着したヒータ (7年間使用)	電線のスパーク (20年間使用)	端子台の劣化 (15年間使用)

## 更新の必要性

上記写真は、長期間使用した場合の事例です。

これらの製品は、受注後納期を3～5ヶ月ほど要します。生産設備等でご使用の場合、設備の停止期間が長期に亘ります。また、発煙・発火などに至った場合は、消防への連絡など後処理も必要となります。

こうなる前にご連絡を！

熱媒・温水循環装置 更新のご用命は、日本電熱(株)産機事業部 各営業グループへ

- ・東日本営業グループ TEL:03-6721-5320
- ・中部営業グループ TEL:0263-87-8283
- ・西日本営業グループ TEL:06-6195-3010